

# 中小企業における情報セキュリティの動向と 対策・支援策

2024年2月29日

独立行政法人情報処理推進機構

セキュリティセンター セキュリティ普及啓発・振興部

普及啓発グループ

田島 凜

# 最近の「組織」における脅威動向

- 「ランサムウェアによる被害」が引き続き1位。
- 「サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃」が引き続き2位。
- 「内部不正による情報漏えい等の被害」が4位から3位へ（3年連続上昇）。

順位	情報セキュリティ10大脅威2024 組織編	初選出年	選出状況(2016年～)
1	ランサムウェアによる被害	2016年	9年連続9回目
2	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	2019年	6年連続6回目
3	内部不正による情報漏えい等の被害	2016年	9年連続9回目
4	標的型攻撃による機密情報の窃取	2016年	9年連続9回目
5	修正プログラムの公開前を狙う攻撃（ゼロデイ攻撃）	2022年	3年連続3回目
6	不注意による情報漏えい等の被害	2016年	6年連続7回目
7	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	2016年	4年連続7回目
8	ビジネスメール詐欺による金銭被害	2018年	7年連続7回目
9	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	2021年	4年連続4回目
10	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）	2017年	2年連続4回目

# 脅威から会社をどう守るのか 効果的な解決方法は？

- 情報セキュリティ対策では、“**平時からの「人」の対策**”と“**有事に向けた「仕組み」による対策**”の**両方に並行して取り組む**ことが重要。

## 平時からの「人」の対策 (防御等)

- 体制の整備
- 情報セキュリティ規程の作成、周知、点検や改善
- 教育等による社員意識向上



## 有事に向けた「仕組み」による対策 (検知、対応、復旧等)

- 目に見えないサイバー攻撃を可視化、異常の監視
- 何か起きた場合の緊急対応・復旧



**支援制度、ツール等を活用して脅威に対抗を！！**

平時の対策支援  
(社内体制や規程の整備、社内教育等)



中小企業の経営者や実務担当者が、情報セキュリティ**対策の必要性**を理解し、**情報を安全に管理**するための具体的な手順等を示したガイドライン



- 経営者が認識すべき**「3原則」**、経営者がやらなければならない**「重要7項目の取組」**を記載
- 情報セキュリティ対策は**できるところから 段階的**に進める方策を説明。
- すぐに実践できる「情報セキュリティ基本方針」や「情報セキュリティ関連規程」等の**ひな形**、「中小企業のためのセキュリティインシデント対応の手引き」等**8種類の付録**を用意。

# 中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン第3.1版

<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/about.html>



## Step1 できるところから 始める

まずは、企業の規模に関わらず必ず実行すべき重要な5つの対策「情報セキュリティ5か条」に取り組みましょう。



## Step2 組織的な取り組みを 開始する

「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で自社の状況を把握し、できていない組織的な対策についてガイドラインを参考に取り組みましょう。



## Step3 本格的に取り組む

「情報セキュリティ関連規程」のひな形を活用して自社に適した規程を作成し、運用を開始すると共に点検や改善を行っていきましょう。



## Step4 より強固にするため の方策

利用しているクラウドサービスの安全利用、インシデント発生時の備えなど強固な情報セキュリティ対策についてガイドラインを参考に取り組みましょう。







- 中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを**自己宣言**する制度（※）
  - 「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」の実践をベースに**2段階の取組目標**を用意

※IPAが各企業等の情報セキュリティ対策状況等を認定する、あるいは認証等を付与する制度ではありません。

## 1段階目（一つ星）

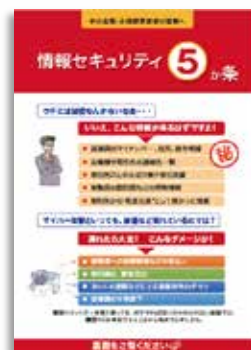
### ●情報セキュリティ5か条に取り組む

#### 【情報セキュリティ5か条】

- OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう！
- ウイルス対策ソフトを導入しよう！
- パスワードを強化しよう！
- 共有設定を見直そう！
- 脅威や攻撃の手口を知ろう！



セキュリティ対策自己宣言



## 2段階目（二つ星）

- 情報セキュリティ自社診断を実施
- 基本方針を策定

#### 【基本方針の記載項目例】

- 管理体制の整備
- 法令・ガイドライン等の順守
- セキュリティ対策の実施
- 継続的改善



セキュリティ対策自己宣言



# SECURITY ACTION制度のメリット

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>



## 1. 情報セキュリティ対策への取組みの**見える化**

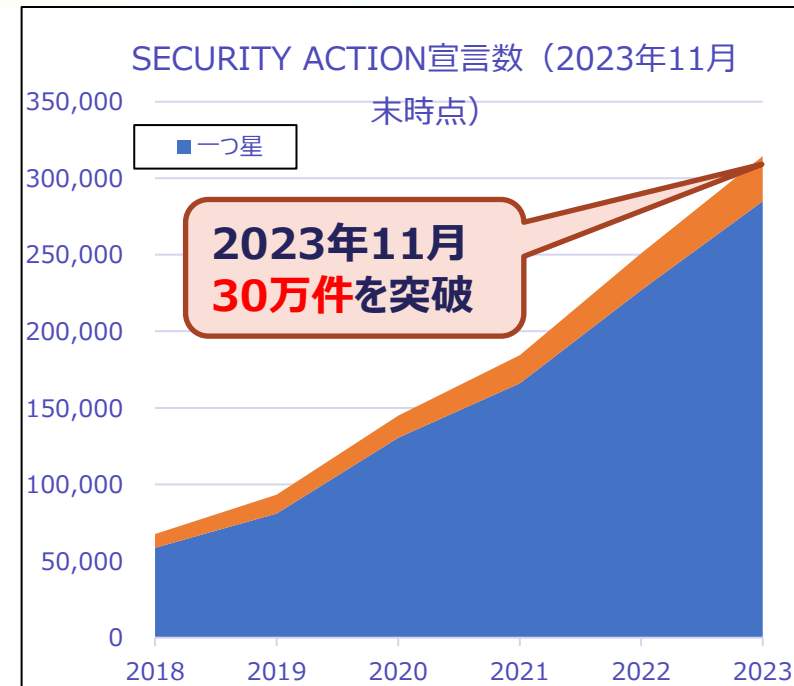
👉 ロゴマークをウェブサイトに掲出したり、名刺やパンフレットに印刷することで自らの取組み姿勢をアピール

## 2. 顧客や取引先との**信頼関係**の構築

👉 既存顧客との関係性強化や、新規顧客の信頼獲得のきっかけに

## 3. **公的補助**・民間の支援を受けやすく

👉 SECURITY ACTIONを要件とする補助金の申請、普及賛同企業から提供される様々な支援策が利用可能



見える化



信頼関係

経営革新に投資するチャンス！  
経費の1/2もしくは2/3を最大1,250万円まで補助！  
(グリーン枠は最大2,000万円、グローバル協創型は最大3,000万円まで)  
令和元年度・令和三年度補正予算事業

**ものづくり・商業・サービス補助金**

「デジタル枠」の申請要件

独立行政法人情報処理推進機構が実施する「SECURITY ACTION」の「★一つ星」または「★★二つ星」いずれかの宣言を行っていること

2022年2月16日更新版  
ものづくり補助金事務局

※本補助金の申請には「0ビッドプライムアカウント」が必要です。登録未了の方は本補助金にご応募できません。  
※本資料は令和元年度・令和三年度補正予算の「製造・サービス産業向上支援補助事業・公的補助の概要版」です。  
内容にあたっては、必ず正式な公募要項をご覧ください。

公的補助



# 5分でできる！ポイント学習

<https://security-shien.ipa.go.jp/learning/>



IPA

- ◆ インターネット接続環境があれば、いつでもどこでも学習可能な、eラーニングシステム
- ◆ 1テーマ**5分**。情報セキュリティ自社診断と連動

無線LANについて ～無線LANを安全に使うための対策～

**事例**

たしかに、街中には無料で使える無線LANが増えていて便利にはなった。

しかし、安易に仕事で使っているパソコンを接続して使用するのには危険が多すぎるよ。

無線LANについて ～無線LANを安全に使うための対策～

**事例**

危険で…なんですか？

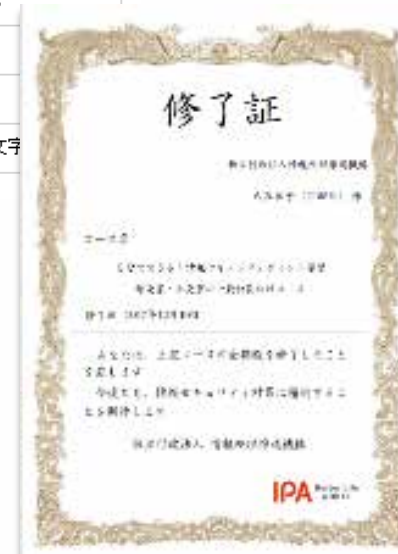
## 【確認テスト】No.9

Q1 x不正解

無線LANについて、不適切なのはどれでしょうか。

正答	回答	選択肢
		無線LANは、暗号化が施されているものを選ぶのももちろん、暗号強度の高いものを選ぶ。
●		急ぎの仕事があったので、街中の無線LANを使って顧客とメールのやり取りを行なった。
●		無線LANに接続する時は、他人に見られないよう、ファイル共有機能を無効にする。
		社内などで設置した無線LANは、暗号強度の高いものを設定し、パスワードを推測困難な文字

**修了証も発行できます!!**



# 映像で知る情報セキュリティ




<https://www.ipa.go.jp/security/videos/list.html#keihatsu>



IPA

- ◆ 情報セキュリティに関する様々な脅威と対策を**10分程度のドラマ**などで分かりやすく解説した映像コンテンツ**33タイトル**。  
YouTube「**IPAチャンネル**」では全タイトルをいつでも視聴可能
  - 累計再生回数**約531万回**（2023年3月末現在）
- ◆ **社内研修等**、営利を目的としない用途に限り、主な映像の**動画ファイル**を**無償提供**（ダウンロード）

## ● 主な映像コンテンツ

	<b>今、そこにある脅威～組織を狙うランサムウェア攻撃～</b> 身代金として金銭を得ることを目的に企業・組織内のネットワークへ侵入し、データを一斉に暗号化して使用できなくしたりする"ランサムウェア攻撃"。本作ではその攻撃の手口、経営者・管理者・システム担当者、従業員が行うべき対策などを解説しています。	約15分
	<b>華麗なる情報セキュリティ対策</b> 「華麗なる情報セキュリティ対策」シリーズは、組織の従業員が日常行うべき8つの対策をご紹介します。	8話構成 各話2分
	<b>妻からのメッセージ～テレワークのセキュリティ～</b> テレワークでは職場の情報セキュリティ対策と同様に「情報漏えい」や「不正アクセス」などの被害に遭わないよう対策を講じる必要があります。本映像の主人公と一緒にテレワークのセキュリティ対策を学んでいきましょう。	約10分



IPA 映像

検索

# 有事の対策支援 (検知、対応、復旧等)

# サイバーセキュリティお助け隊サービス制度

<https://www.ipa.go.jp/security/otasuketai-pr/>



IPA

- 中小企業に対するサイバー攻撃への対処として**不可欠なサービスをワンパッケージ**で要件化した**民間サービス**の登録制度。  
2021年4月から開始
- 現在**40社**から**55サービス**が展開
- **IT導入補助金（セキュリティ対策推進枠）**が利用可能（補助額：5万円～100万円、補助率：1/2、補助対象：サービス利用料（最大2年分）詳細は「IT導入補助金2023」ウェブサイトをご参照ください。

## 相談窓口

ユーザーからの相談を受け付ける窓口  
を設置／案内

## 24時間見守る仕組み

ネットワーク監視型  
端末監視型  
その併用型

## 緊急時の対応支援

インシデント発生などの緊急時に  
駆け付け支援

## 導入・運用のしやすさ

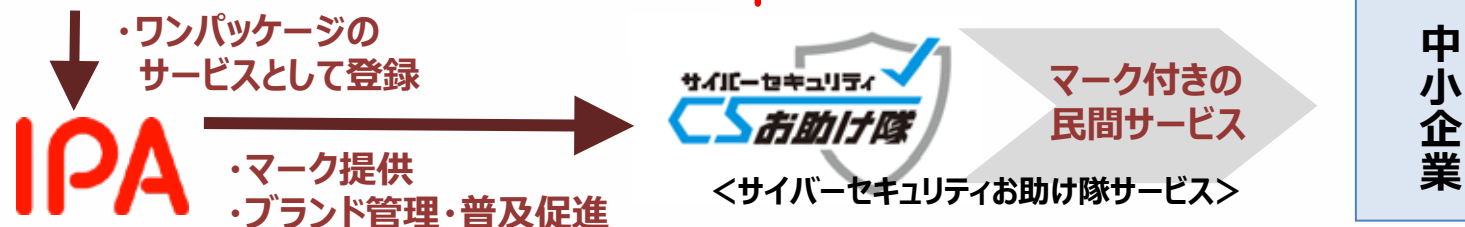
専門知識がなくても導入・運用できる  
ような工夫

## 簡易サイバー保険

突発的に発生する駆け付け費用等を  
補償するサイバー保険

## 中小企業でも導入、 維持できる価格

- ・ネットワーク監視型：月額1万円以下
- ・端末監視型：月額2,000円以下／台
- ・併用型：これらの合算相当価格以下







# 【お助け隊サービス】中小企業ユーザーの主な声

## ＜サイバーセキュリティお助け隊サービスについて中小企業から寄せられた声＞

● 自社の対策が不十分であることにより、取引先に迷惑をおかけするわけにはいかないため、サイバーセキュリティお助け隊サービスの導入を決めた。

● 検知・監視してくれるだけでなく何かあった時の事後対応まで含まれるところがよい。セキュリティについて全く分からないので、まとめてお任せできる場所にお願いしたいと考えていた。

● アラート通知が来るので、防御できていることが実感でき安心。本社のほか複数の拠点でも利用しているがサービス利用料が安いので助かっている。

● 何も無いということがわかることも良い点。セキュリティレポートをストックしておくことで、報告資料としても使えるので助かっている。





# 情報セキュリティ安心相談窓口

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/index.html>

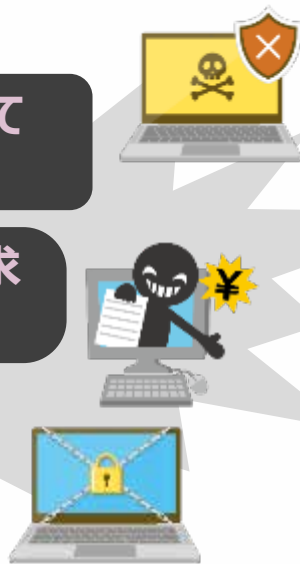
IPA

- 一般的な情報セキュリティ（主にウイルスや不正アクセス）に関する**技術的な相談**に対してアドバイスを提供する相談窓口。
- 相談に対して、**事象の分析や助言**を行うほか、相談内容から判明したトラブルの**傾向、手口、対策に関する情報の公開**により、国民のセキュリティリテラシーの向上と対策の促進を実施。

突然 **ウイルスに感染している**と表示されたけど本当？

**アダルトサイトの請求画面**が消えない…

**ファイルが暗号化**されてしまって開けない…



情報セキュリティ安心相談窓口

**メール、電話**  
で相談対応を行います

寄せられた情報をもとに被害拡大防止のための**情報発信**を行います



注意喚起



安心相談窓口だより



統計情報



FAQ



電話

**03-5978-7509**

平日10:00-12:00、13:30-17:00



メール

**anshin@ipa.go.jp**



ポータル

IPA安心相談

検索



IPA